



Press Information

VPR05-062
2005年11月29日(火)
フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン、ダカールラリーに向けて「レース トウアレグ 2」の準備万端 —エッセン モーターショーにて公式プレゼンテーション—

ウォルフスブルク発:

2006年ダカールラリーまで残すところ37日となりました。今回のダカールラリーは、大晦日にポルトガルの首都リスボンをスタートします。フォルクスワーゲンは、エッセン モーターショーにおいて、「レース トウアレグ 2」を公式に披露しました。フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクターのクリス ニッセンは、記者会見で次のように語っています。「絶対に勝つ、その心意気でラリー本番に臨みます。チームは一丸となって、“ダカール”に向けて入念な準備を進めています。」

「レース トウアレグ 2」が展示されるエッセン モーターショーは12月4日までの会期中、約40万人の来場者が見込まれています。

今年1月のダカールラリーではディーゼル車初の表彰台を獲得、その後も順調に好成績を重ね、ブルーノ サビー/ミシェル ペラン組が2005年FIAクロスカントリー ラリー ワールドカップ ウィナーの称号に輝いています。フォルクスワーゲンは、追い風に乗り、ダカールでも勝利を目指します。新しい「レース トウアレグ 2」は、ダカール優勝を合い言葉に開発され、フォルクスワーゲン ワークスチームは史上最大の5台をエントリーして万全の体制で伝統の砂漠イベントに参戦します。

さらに強化されたドライバー ラインナップ

2006年ダカールラリーに向け、エントリーは4チームから5チームに拡大されました。お馴染みのユタ クラインシュミット(ドイツ)/ファブリツィア ポンス(イタリア)、2005年FIAクロスカントリー ラリー ワールドカップ ウィナーのブルーノ サビー(フランス)/ミシェル ペラン(フランス)の2クルーに加え、2005年クロスカントリー ラリー ワールドカップで2度の2位を記録したジニエル ドゥ ヴィリエール(南アフリカ)/ティナ ターナー(スウェーデン)、世界ラリー選手権通算26勝を誇るカルロス サインツ(スペイン)と2度のダカール総合優勝に輝くコドライバー、アンディ シュルツ(ドイツ)の強力ペアの他、マーク ミラー(アメリカ)も新たにフォルクスワーゲン ワークスに名を連ねています。ミラーのパートナー、ディルク フォン ツィツェヴィッツ(ドイツ)は、昨年、ロビー ゴードンのコドライバーとしてダカールに参戦。さらにミラーとも2度のダカールを経験しています。

フォルクスワーゲンは、包括的なテスト プログラムに加え、5戦のクロスカントリー ラリーにも参戦し、ダカールラリーに向けて準備を整えてきました。加えて、サビーがクロスカントリー ラリー ワールドカップのタイトルウィナーに輝き、チームにはさらに弾みがついています。「トウアレグは非常に高い信頼性を有しています。シーズン中、メカトラブルはたったの一度も発生していません」とニッセン。「2005年ダカール以降、チームもマシンも大きく進歩しています。今シーズンのクロスカントリー ワールドカップでも圧倒的な力を示し、2戦を残してタイトルを確定させることができました。クロスカントリーに進出してまだ2年しか経っていないことを考えると、快挙と言ってもいいでしょう。」

いっそうの進化を遂げた「レース トウアレグ」

クロスカントリー ラリーで3勝を上げ、タイトルを確定させた「フォルクスワーゲン レース トウアレグ」は、2006年ダカールラリーに向けていっそうの進化を遂げています。特にサスペンションとドライバー/コドライバーの視界が最適化されています。「レース トウアレグ 2」のパワーユニットは、昨年に引き続いて5気筒TDIエンジンが採用されていますが、パワー特性とスロットル レスポンスに手が入れられ、大幅な進化が達成されました。「レース トウアレグ 2は、論理的に一貫した進化を遂げています。プロフェッショナル モータースポ

ーツにおいて、シーズン毎にマシンを熟成させるのは当然の仕事です。パフォーマンスとユーザーフレンドリーなキャラクターの向上というふたつの大きな目標を実現することができました」とニッセン。「レース トウアレグの素性の良さ、コンセプトの確かさはすでに証明済みです。すべての側面においていっそうの進化を遂げたマシンが、レース トウアレグ 2 です。2 年間の経験と知識をすべて投入したマシン、という言い方もできるでしょう。」

「レース トウアレグ 2」は、10 月のクロスカントリー イベント、ラリー バハ ポルタレグレで実戦デビュー、クラインシュミット、サインツ、サビーがいきなり 2-3-4 フィニッシュを記録しています。「新しいレース トウアレグ 2 は、特にハンドリングが素晴らしいですね。タイトコーナーの機動性が大きく向上されています。ダカールでも絶対に上位争いができますね」と、クラインシュミットは明るい表情で語っています。

2006 年ダカールは、史上初めてリスボンからスタート

2006 年ダカールラリーは、12 月 31 日、ポルトガルの首都リスボンをスタートします。ポルトガルをはじめ、スペイン、モロッコ、モーリタニア、マリ、ギニアを経て、セネガルの首都ダカールに至るルートが設定されており、ゴールは 2006 年 1 月 15 日のラック ローズです。2005 年は、クラインシュミット/ポンス、サビー/ペラン、ゴードン/フォン ツイツェヴィッツが、それぞれ 3 位、5 位、12 位で完走しています。また、4 カ所のスペシャルステージ(SS)を制し、12 度のトップ 3 フィニッシュをマーク。4 日間にわたって総合首位を走行しました。

フォルクスワーゲン モータースポーツ チームの 2006 年ダカールラリーは、クリスマス前からすでに始まっています。チームは、12 月 18 日(日)、ウォルフスブルクで一大イベントを開催、ダカールの勝利を誓います。「チームの一部は、そのまま陸路スペインに向かい、12 月 21 日に予定されているロールアウトに臨んだ後、リスボンに入ります」とニッセン。「その後、スタッフは一度帰宅して、家族とともにクリスマス休暇を過ごします。来月末には技術車検も予定されているため、ある程度余裕を持って再びポルトガルに向かいます。」

最新のフォルクスワーゲン モータースポーツの情報はwww.volkswagen-motorsport.infoにてご覧頂けます。